

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	いずみ保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成23年10月18日

総 評	<p>京都市との境界、宇治市の北に位置するいずみ保育園は、昭和58年4月に開園し、周りを高層住宅に囲まれた環境に立地しています。</p> <p>地域に根差した保育サービスとして、一時保育事業・未就園児園庭開放・放課後児童健全育成事業に取り組み、子どもが持っている可能性を伸ばし、身体機能の調和的発達を図る狙いで、体操・絵画・音楽に力を注いでいます。</p> <p>保育理念である「未来に向かって限りない可能性を秘めた子ども達が、自分らしく豊かに現在を生き、未来を創り出していく力の基礎を養う。」を掲げ、その実現に向け日々職員間で研修・研鑽し、保育に取り組んでいます。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭には、季節を感じる木々の緑やプランターの菜園等、子どもたちが身近な自然に関わる工夫がされています。保育室は彩光や通風、換気も良く、絵本や年令に応じた遊具が適切に配置されています。 ・家庭訪問を継続的に行い、家庭との連携を強め個々の保育に活かしています。 ・子どもの保育園での食の理解を深めるために、献立のレシピを掲示しています。また、食事は行事に合わせてバイキング方式を取り入れたり、季節感のある食材を使用したりなどの工夫が見られます。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・保育方針・保育目標の周知状況を確認し、継続的な取り組みをされることが望ましいでしょう。 ・各種規程・マニュアルの見直しをされるとなお良いでしょう。 ・乳児保育室への職員の出入りの方法を配慮されるとなお良いでしょう。 ・障害児保育について、子どもの個性に応じた計画を職員間で共有されるとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	いずみ保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成23年10月18日（火）

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-1(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	B
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-2(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-2(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	B	B
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-1(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

- ・保育理念、基本方針、保育目標が「入園のしおり」・パンフレット・園だよりに明文化されています。職員や利用者にも配布されています。地域に向けた周知を促す取り組みを実施されるとなおります。
- ・保育課程や指導計画等は園の理念・基本方針に基づき、編成・作成されていますが、更に指導計画の評価・見直しを行ない、職員や利用者への周知を促す取り組みをされることが望ましいでしょう。
- ・管理職の役割と責任を文書化し、職員に対して表明することが望ましいでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	B	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B	B	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	B
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	B		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

[自由記述欄]

- ・職員の就労状況や意向を把握する仕組みは構築されていますが、定期的に分析・検討し、具体的なプランに反映することが望ましいでしょう。また、職員の悩みなどを相談できる環境を整える事により職場環境の改善が図られるでしょう。
- ・職員の教育・研修については、現在作成中の研修計画を立てられると共に、個別の研修成果について評価・見直しをされるとなお良いでしょう。
- ・実習生やボランティア受け入れに関するマニュアルもあり、受け入れ体制が整っています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	B
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	B
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	B
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	A

[自由記述欄]

- ・利用者のプライバシー保護に関する職員への周知はなされていますが、規程・マニュアルの整備をすることが望ましいでしょう。
- ・定期的に自己評価を行い、その結果を分析し、改善に向けた取り組みが行われています。
- ・利用者に関する記録管理規程を整備し、職員に周知することが望ましいでしょう。
- ・利用希望者には随時園内見学を実施し、保育園の葉にて説明しています。また、保育園の葉については行政の窓口にも置くなど情報を提供しています。
- ・保育の開始にあたり、利用者には保育サービスについて説明がなされていますが、料金についての説明を工夫されると良いでしょう。
- ・転園、卒園にあたる保育の継続性については、保護者や転園先の園の意向に応じて行っています。



評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	B	B
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	B
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	B

[自由記述欄]

- ・感染症に対するマニュアルを整備し、健康診断や歯科健診の結果を保護者や職員に伝え、保育に反映させています。
- ・食事は、栽培し収穫をした野菜を給食に取り入れ、季節感のある食材を使用しています。
- ・アレルギー疾患を持つ子どもに対し、専門医の指示のもとで除去食の対応はできていますが、今後は代替食への取り組みを図られることが望ましいでしょう。
- ・室内は、彩光や通風・換気に配慮し、手洗い場やトイレも使いやすく整備され清潔に保たれています。
- ・子どもに分かりやすい言葉で接し、一人ひとりを受容しようと努めています。また、子どもが自発的に活動できるように絵本コーナーを設置し、年齢に即した玩具や遊具が整備され、当番活動や異年齢や姉妹園との交流を通して社会性を養うよう配慮されています。長時間保育に際しても環境が整備され、職員間の引継ぎが適切に行われています。
- ・乳児保育室への職員の出入りの方法を配慮されるとなおいでしょう。
- ・園内は、バリアフリーの配慮が見受けられましたが、障害児保育については、子どもの特性に合わせた計画を職員間で共有する事が望ましいでしょう。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

- ・保護者との情報交換は、送迎時の一言コミュニケーションや連絡帳で行うと共に、懇談会や保育参加を通して、保護者との共通理解を図っています。
- ・虐待を受けていると疑われる子どもに関して、マニュアルに基づき、職員研修を実施し、日頃から関係機関との連携を図っています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

[自由記述欄]

- ・調理場等の衛生管理マニュアルが整備され、職員に周知を促すための研修が行われています。
- ・事故防止のためのチェックリストや「ヒヤリ・ハット」の事例活用など事故防止のための研修が行われています。
- ・不審者対策については、対応マニュアルを整備し、登降園時は職員が通用門に立って安全を確認し、他の時間帯は施錠し防犯対策を行っています。